

10月医療安全ニュース

2016年10月31日 あおもり協立病院医療安全管理室

いつもインシデントアクシデント報告ありがとうございます。



発見ありがとう！ 6階病棟 Lv0 報告～

キャップの開栓方法がわからず、注射器で経口投 与薬(バンコマイシン)を溶解した事例

事例No. 674 (10月18～19日発生)

経口用バンコマイシンが処方された。指示1日目の昼食前に与薬準備している際、経管栄養の患者さんに「白湯20mlとバンコマイシンを溶解して投与」の指示あったが、加-フィルチップでなく10ccシリンジに18G針つけ白湯を引いて溶解しようとしていたところを翌日も2日続けて発見した。与薬の前に気づいた。

【背景・要因】

- その日の部屋持ちスタッフが1年目・2年目で知識や確認する事自体が未熟だった
- 日勤帯勤務として繁忙であった
- 本人専用の加-フィルチップを用意していなかった
- どう開栓するか、溶解するかが共有事項として他のスタッフにも伝わっていない可能性がある

【病棟でとられた対策】

- 処方されたらリダー-又は部屋持ちが本人専用のリッヅ・カードを作り、薬の加-フィルターにセットする
- 処方されたらリダー-が溶解する方法をスタッフに確認、指導する
- やり方がわからなければ先輩・上司に聞くようフォローを入れる
- 他にも注意すべき薬剤があれば、
 - ① 申し送りノートに記載する(リダー-もしくは部屋持ち)
 - ② 適宜学習会など開く(薬局に依頼)でチームに関わらずスタッフ全員が共有できるようにする

経口投与と理解していましたが、もしも、注射液と間違い静脈から投与されれば、血液の溶血や感染などLv3b以上になった事例でした。

報告ありがとうございました

